




プログラム名		森の中で忍者になろう！！						
対象年齢		年中・年長（４～６歳）						
ねらい	メッセージ	木や葉と共に生きていることを感じ自然を大切にする。						
	発見・体験できること	・木や葉の感触、においを体験する。						
参加者のめやす		幼児 30人 / 支援者 3人						
実施時間		30分						
フィールド								
	森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ				
5分	 忍者からの巻物の話を聞く （内容・約束など）  ・ハチマキをつける			支援者は事前にふるしきで覆面をしておきましょう。 ゲームに興味をもてるように、話をしましょう。 事前に約束ごとを伝え、安全にゲームができるように配慮をしましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・遠くに行かないようにしましょう。 ・笛の音が鳴ったら支援者の所へ戻りましょう。 ・友だちと仲良く遊びましょう。 </div> 忍者になりきれるようにハチマキ（赤・青・黄）を用意しておきましょう。				
10分	忍者の修行をする ・「忍び足の術」森の中で音を立てないで歩く ・「ゴロゴロの術」森の中に寝ころび転がる ・「木隠れの術」木になりきる 			支援者もゲームを楽しみ、自然物に触れるおもしろさを伝えましょう。 自然物に触れる事に抵抗のある子どもには、その気持ちを受け止めて援助しましょう。 子どもたちの「つぶやき」を大切にして発見できた喜びに共感すると良いでしょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>その他の色々な術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウサギの術」びよんびよん跳ねる ・「なりきりの術」色々なものなどに变身する ・「葉っぱ投げの術」葉っぱを手裏剣にして投げる ・「雨降らしの術」葉っぱを上投げる ・「モミモミの術」葉っぱをもんで粉にする など </div>				



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
2分	支援者の所に集まる	笛を鳴らして集まることを知らせ、話が聞けるように言葉がけをしましょう 子どもたちの楽しかった思いを受け止めましょう。
5分	好きな動物や虫に変身して宝物を探す ・「変身の術」葉っぱや木のおいをかぐ	支援者も変身し、なりきって遊べるように呼びかけましょう。 
5分	ハチマキに自然物の宝物を貼ってもらう  	自然物の宝物を見つけた喜びに共感し、達成感を感じられるような言葉がけをすると良いでしょう。 大きな宝物が貼れるように、セロハンテープも用意しておきましょう。 まだゲームを続けたいという子どもたちの思いを受け止めながら、気持ちを落ち着かせましょう。
3分	支援者の話を聞く	今日の「ふりかえり」をし、次のゲームにも期待が持てるような言葉がけをすると良いでしょう。

【異年齢への対応】

- 年少：忍者を理解することができないので、導入に忍者などの絵本を読んで見本を見せましょう。
：「忍び足の術」と「木の葉隠れの術」（落ち葉に隠れる）は、3歳児には抵抗がないので2つに絞ったゲームにしてみましょう。
- ：忍者の巻物の内容を簡単にしてゲームをしてみましょう。
- ：何度も繰り返して遊ぶのも良いでしょう。
- ：ハチマキに貼る自然物は1つにして、探した物は腰につけた袋に入れて持ち帰りましょう。

【園や家庭に帰ってから】

- 園庭の葉のにおいをかぐ事や葉の手触りを楽しみ探した自然物の宝物はハチマキに貼りましょう。園庭を修行サーキットコースにして遊びましょう。
- （築山のぼり・葉っぱ手裏剣・木に抱きつく・地面や芝生でゴロゴロの術など）
- 家の周りの葉っぱのにおいをかぐ事や手触りを楽しむ様にして自然に親しみましょう。
- 家庭では「片づけの術」などで、子どもに「お片づけ」をしてもらうのも良いでしょう。

準備物・教材等

- ・笛 ・巻物（事前に用意をします） ・画用紙で作ったハチマキ（赤・黄・青）
- ・両面テープ（ハチマキの正面に貼る） ・ふるしき（ふく面用3枚）
- ・セロハンテープ

